

みずほCustomer Desk Report 2023/03/09号 (As of 2023/03/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	137.40 AUD/USD
TKY 9:00AM	137.40	1.0549	144.93	1.1829	0.6589
SYD-NY High	137.90	1.0574	145.20	1.1855	0.6628
SYD-NY Low	136.48	1.0524	144.25	1.1805	0.6568
NY 5:00 PM	137.37	1.0544	144.84	1.1843	0.6590
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,798.40	▲ 58.06	日本2年債	▲0.0400%	0.0100%
NASDAQ	11,576.00	45.67	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,992.01	5.64	米国2年債	5.0691%	0.0553%
日経平均	28,444.19	135.03	米国5年債	4.3444%	0.0312%
TOPIX	2,051.21	6.23	米国10年債	3.9883%	0.0207%
ソコ日経先物	28,625.00	415.00	独10年債	2.6395%	▲0.0485%
ロンドンFT	7,929.92	10.44	英10年債	3.7605%	▲0.0580%
DAX	15,631.87	72.34	豪10年債	3.7470%	0.0040%
ハンセン指数	20,051.25	▲ 483.23	USDJPY 1M Vol	12.88%	0.47%
上海総合	3,283.25	▲ 1.85	USDJPY 3M Vol	11.85%	0.19%
NY金	1,818.60	▲ 1.40	USDJPY 6M Vol	11.22%	0.13%
WTI	76.66	▲ 0.92	USDJPY 1M 25RR	▲1.79%	Yen Call Over
CRB指数	267.02	▲ 2.56	EURJPY 3M Vol	10.79%	0.04%
ドルインデックス	105.66	0.04	EURJPY 6M Vol	10.73%	0.07%

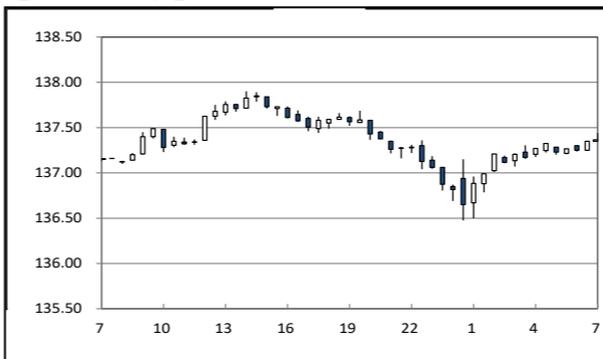
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月8日	14:00	日 景気一致指数・速報	1月 96.1	96.4
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	4Q 0%/1.8%	0%/1.9%
	22:15	米 ADP雇用統計	2月 242k	200k
	22:30	米 貿易収支	1月 -\$68.3b	-\$68.7b
3月9日	0:00	米 JOLT求人	1月 10824k	11012k
	4:00	米 ベージュブック	経済活動は「若干増加」に上方修正 インフレ圧力は依然、拡大している	

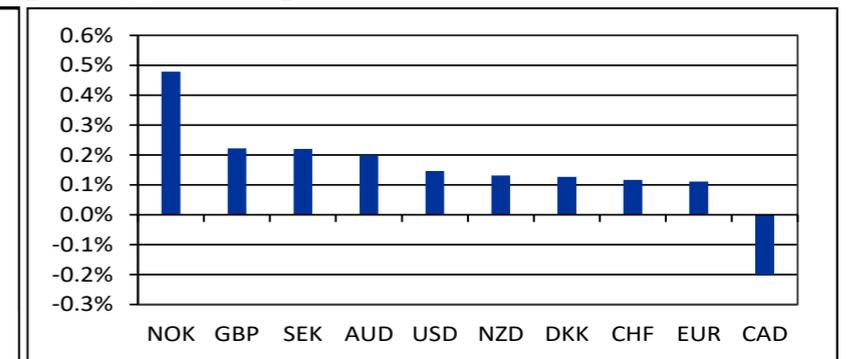
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月9日	22:30	米 新規失業保険申請件数	4-Mar 195k	190k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.50-137.90	1.0520-1.0650	144.10-145.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、137.40でスタート。7日のFRBパウエル議長によるタカ派な発言を受けたドル買いが継続し、抵抗線だった200日移動平均線を上抜けると137.90近辺まで上昇。海外時間では、FRBパウエル議長が下院での議会証言で「利上げについてはまだ何も決まっていな」との発言から大幅な利上げへの期待感が瞬間的に剥落する形となり、136円台半ばまで下落。しかし引けにかけては、再びドル買いに転じ、137.37でクローズした。

本日のドル円は様子見の展開が想定される。FRBパウエル議長より「政策金利を従来の想定より高い水準に引き上げる公算が大きい」とのタカ寄りな発言等から3月FOMCでの50bp利上げ折込は77.9%(前日比8%増)まで折込を加速している状況。また昨日発表された米雇用関連指標が堅調だったことから明日に控える米雇用統計も予想を上振れるとの見方が高まりやすく、金利安、ドル買いの展開が警戒される。ただ、本日はイベント直前のため決め打ちはできず、様子見の展開を想定。

東京	東京時間のドル円は137.40レベルでオープン。昨日のパウエルFRB議長による効派な発言を受けたドル買いが継続。抵抗線だった200日移動平均線を上抜けると137.90まで上昇。結局137.73レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は137.73レベルでオープン。米長期金利の上昇が一服したこともあり、ドル売りの展開。一本調子で下落し、137.30レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は137円台前半でスタート。アジア時間では昨日の米議会証言の内容を受けドル円は上伸したが、138円付近では持ち高調整や利益確定の売りが入り、次第に反落し137.30レベルでNYオープン。朝方に発表された米2月ADP雇用統計が予想を上回ったが、特段ドル買い材料にはならず。その後、パウエルFRB議長の下院金融サービス委員会での公聴会が警戒されたためか、ポジション調整のドル売りが先行し、安値136.48をつける。公聴会でパウエル議長が「利上げのペースについてまだなにも正式に決まってい」と強調したことが伝わるものの、前日の効派の金融政策のイメージを払拭できず、売り一巡後は米長期金利上昇と共にじり高で推移。午後ドル円は堅調に推移し結局137.37レベルまで戻しクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台半ばでスタート。海外時間では昨日の米議会証言の内容を受けドルが買われ、1.0526まで下落。小幅反発後、1.0547レベルでNYオープン。朝方は米長期金利の低下に伴ったドル売りを受けて1.0573付近まで上昇。午前中のパウエル議長の発言は昨日よりも慎重な見方が示されたが、ドル売りには繋がらず、昨日の効派発言が再度材料視されたことからドル買いが優勢となり、1.0530まで反落。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.0544レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大橋・逸見